



48th GUEST

Asao Komori

小森朝夫

年月をかけて築き上げたもの

text_Chiaki Okawara

秘密基地のような庭にはひょうたんの形を活かして作られた鶴のオブジエヤ、切り株に描かれたポップなイラスト、ペットボトルを繰り抜いて作られた宇宙船のような植木鉢、見ているだけで楽しくなる作品が所狭しと飾られている。取材のため訪れた小森さんのお宅だ。通されたのは隠し部屋。この部屋も家の周りの作品もすべて手作り。

「この部屋は土を全部掻き出して作った。こち側の壁は車庫のだから、そのままそれを利用して階段を付けて家とつないで部屋にしました。わたしの作業場です」

縫製職人だったので手先は器用。ものづくりの心得もある。現在の那須烏山市で生まれ、修業のために上京した。時代が職人から工場にとって代わったのを機に自身も工場へと転職した。住まいも草加市へと移したが、数年後、道路拡張のための計画地域にかかり移動

を余儀なくされた。定年前だったが、生まれ故郷に帰ってきた。

「家内が農家の出身で家庭菜園をやりたかったのもあるし、何より温泉にひかれてフィオーレを購入した」

ひょうたんアートに使うひょうたんは、なんと自ら育てている。

「高根沢の元気あつが村でひょうたんの作品展を見に行ったのがきっかけで種をもらった。自分も育てるところからやってみようと思って」

誰もが気軽にできてしまふことには興味がない。人が中々できないことだからこそ見よう見まね、独学で挑戦する。

「作品を作っている間は没頭して食事するのも忘れちゃう」

これまでたくさん作品を作り展示会も開いたが、そのほとんどは人に譲ってしまった。作業部屋の棚にもほんの少し並んでいる程度だ。

「小鳥の置物を指しながら

ら)それを作った人と、お互いの作品が気に入って物々交換した。他にもそんな風にして手に入れたものがたくさんある。でも今は、ひょうたんに限らず作品はほとんど作らなくなってしまった。歳をとっちゃったからね。今は野菜作りだけを楽しんでいる。それでも一日があつという間に過ぎちゃう」

日の出とともに目を覚まし、土をいじり、日が暮れると眠りにつく。晩酌のアテは自身で育てた野菜。収穫してすぐに食卓に上る生活が楽しく、健康の秘訣になっている。

「都会にいた時よりも今の方が元気。何年も風邪をひいてないし、畑をやるから筋肉もモリモリ。都会ではできなかった趣味が楽しめる。人との付き合い方も全然違うね。土を掻き出した時も敷地が広いから迷惑をかけるに済んだし、それどころか『その土うちの敷地の高さを出したいからちよつだい』なんて言われ

た笑)」

田舎の人のおおらかさや心の距離の近さに魅力を感じている。

「特に農家の知り合いにばつたり会つと『ちよつとお茶でも飲んでいきなよ』と誘われる」

自分の畑で採れたものをおすそ分けしたり、逆に自分が作っていないものを相手からもらったりと、お互い様の暮らしを楽しんでいる。

「そついつながらりの中で、自分にしかできないことをやって喜んでもらえるの嬉しい。今度はそれが自分の楽しみにもなる」

長い年月をかけてこのまちだからこそ築き上げてきたつながらり。それが今の小森さんの暮らしを豊かにしている。



01 | さくらテラス | 改札を出てすぐ。駅周辺の新しいランドマーク。 sakura terrace



2018年5月に氏家駅前にオープンした情報発信拠点施設。特産品を買える販売スペースがある駅前情報館と、さくら市の魅力が展示される展示館の2館がさくらスクエアを挟んで建つ。情報館には観光案内所やベビー休憩室、予約制の会議室もあり市民に親しまれているそう。どちらの建物にも休憩スペースが設けられており、電車やバスを待ちながら涼んでいる人の姿もちらほら。

◎ 9:00-18:00
 ▲ 月休(月曜日が祝祭日の場合、翌日以降の平日休み)
 ☎ 028-680-5533(会議室予約はこちらから)

02 | cafe茶々まる | ランチも充実、まったりとおいしい時間。 cafe chachamaru



1. かぼちゃをくり抜いた器が食欲をそそる。
 2. ランチセットやメニューは季節に合わせて変化。
 3. ハーフティームも多く揃えていて、女性客に大好評。



まるごと栗カボチャのグラタン

大谷石の壁が印象的なeプラザ参番館に今年の5月にオープンした焼き立てパンやスープが自慢の癒しカフェ。店を飾る猫の雑貨や本、木のテーブルの温かい雰囲気やゆったりとくつろげる。ランチではその季節に合わせて旬の味を提供しているので、何度も足を運んで楽しみたい。

📍 さくら市氏家1851-1 e-プラザ参番館
 ◎ 11:30-18:00(LO17:30)
 ▲ 不定休(facebookで告知)
 ☎ 028-681-5712

03 | フェニックス | ほっとする風景。駅と人を見守り続けて48年。 phoenix



1. ジューシーでしつとり柔らかいカツサンドが評判。
 2. 日によって変わる手作りデザートもこだわりの一品。
 3. 大きな窓からさくら市の玄関口が一望できる。



柔らかカツサンド

駅を出るとまず目に入ってくるのがこのお店。もはや変わらない風景のようだが、実は昨年冬にリニューアルしたそう。店主が2代目になり、ランチメニューがスタート、夜のメニューも充実した。店内は大きな窓が印象的で、駅を行き交う人々の姿を眺めていると時の経つのを忘れてしまう。

📍 さくら市氏家1854-24
 ◎ 11:00-22:00
 ▲ 月休(不定休)
 ☎ 028-682-9441